岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　加茂油木線 道路改良事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　道路　構造物基礎

ボーリング名	Bv-1	調査位置	広島県福山市山野町池尻 (No.12+10　L3.5)	北　緯	34° 39' 46.4393"
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	令和3年10月14日～ 令和3年10月16日	東　経	133° 22' 54.5403"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 118.99m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	9.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：利根TS-100型 / エンジン：ヤンマー(株)製 NFD-12型 / ポンプ：東邦地下工機製BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事	孔内水位/測定月日
1				礫混じり砂	褐							0 [0] 100	盛土。 細～粗砂主体。 φ5～40m程度の角～亜角礫混入。 最大礫径φ60mm。 所々に植物根を混入。	湧生代
2	116.49	2.50										0 [0] 100		
3				シルト混じり砂礫	褐灰							0 [0] 100	φ5～30mm程度の亜角～亜円礫混入。 最大礫径φ50mm。 マトリックスは細粒分～中砂。 下位に向かうにつれ，礫含有量は増加する。 植物根混入。	
4	114.54	4.45										16 [39] 100		
5				泥質岩	暗灰	w2	h1	B	Ⅲ	b	CH	20 [67] 100	基盤岩。 浅部より比較的新鮮な様相を呈する。ほぼ全区間で濡水する。 5.9mまでは短棒状コアを主体とし，亀裂の一部は褐色化している。 ハンマー打撃は鈍い金属音。 GL-5.9m～6.0m間に流入土砂を認める。礫混じり砂質土状。 GL-6.0～-.6.42m間は棒状コア。亀裂多くハンマーの軽打で亀裂沿いに割れる。 GL-6.42m以深はコア周囲を残す岩片状～短棒状コア主体。 GL-8.0～8.6m間は相対的に脆く礫状～一部砂状を呈す。	10/18 5.30
6	113.09	5.90												
	112.57	6.42				w4	h3	D	Ⅵ	d	D	8 [0] 100		口生代
	112.19	6.80				w3			Ⅳ	c	CL			
7							h2	C	Ⅲ	b	CM	13 [25] 100		
8	110.99	8.00				w2								
	110.39	8.60							Ⅴ	c	CL	10 [10] 100		
9	109.99	9.00							Ⅲ	b	CM			
10														
11														
12														
13														
14														

標準貫入試験

深度－N値図

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
5	1.15	5 / 300		
	1.45			
6	2.15	6 / 300		
	2.45			
5	3.15	5 / 300		
	3.45			
50以上	4.15	50 / 200	200	
	4.39			
50以上	5.00	貫入不能		
50以上	6.15	50 / 160	160	
	6.31			
50以上	7.00	貫入不能		
50以上	8.00	貫入不能		
50以上	9.00	貫入不能		

原位置試験	室内試験	削孔状況 削孔月日	削孔速度(cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	削孔水・送水量(L/min)	排水量(L/min)
	3.15 比重 含水 粒度 3.45	10/14	300	66/ケーシング	打込み/打込みシュー	0.0	0	0.0	W1/0	0
		10/15	80	66	W/DC	10.0	250	0.0	W2/5	0
		10/16				10.0	300	0.0	W2/5	5
									W2/5	0

株式会社荒谷建設コンサルタント